

平成18年度当初予算 施策別概要

630 効率的で効果的な組織・体制づくり

(主担当部：総務部)

- 63001 簡素で効率的な組織運営 (総務部)
- 63002 事務の効率化と行政コストの削減 (総務部)
- 63003 適正な法務事務の推進 (総務部)

< 施策の目的 >

(対象) 県組織が

(意図) 行政課題に対し、弾力的かつ創造的に適合している

< 施策の数値目標 >

| 目 標 項 目 | | H15年度 | H16年度 | H17年度 | H18年度 |
|--------------------|----------|-------|-------|-------|-------|
| 職員が仕事をする上での満足度 (%) | 目標値 | 61 | 62 | 62 | 62 |
| | 実績(見込み)値 | 57.9 | 59.7 | 60.3 | - |

「三重県職員満足度アンケート」問3、6、18、19

< 平成18年度に残っている課題 >

地方分権や情報化のさらなる進展、県民の皆さんの行政運営に対する関心が高まる中、厳しい行財政状況等を踏まえ、効果的かつ効率的な行政運営をより一層推進する必要があります。

指定管理者制度の的確な運用に取り組む必要があります。

三重県の実情に応じた条例制定や法制度の的確な運用等が求められています。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

県組織については、平成18年4月に発足する新しい組織機構が、行政課題に対して弾力的かつ創造的なものになるよう、簡素・効率性の視点を踏まえ効果的な運用を図ります。また、計画的な定員削減と業務実態等に見合った職員配置を内容とする「みえ経営改善プラン(仮称)」における定員管理の適正化に取り組みます。

指定管理者制度を導入した施設の管理状況等を把握・評価しながら、制度を的確に運用するとともに、「県の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例」に基づく団体の経営評価を着実に実施します。

諸課題の解決のために職員自らが法的に思考する土壌づくりを、より一層進めていきます。

< 主な事業 >

組織管理事務費【基本事業名：63001 簡素で効率的な組織運営】

当初予算額： 81,576 千円 88,361 千円

事業概要：行政課題に柔軟で弾力的に対応できる行政機構の整備に向けて、簡素で効率的な

組織機構の構築を図ります。また、総務事務のさらなる一元的処理に向けた検討を進めます。

外郭団体自立育成事業費【基本事業名：63002 事務の効率化と行政コストの削減】

当初予算額： 11,670千円 10,841千円

事業概要：外郭団体の経営評価制度や指定管理者制度の的確な運用を図るため、研修会や説明会等を行います。

法務事務費【基本事業名：63003 適正な法務事務の推進】

当初予算額： 9,239千円 9,292千円

事業概要：条例等の制定、改正等について法制執務上の支援を行うとともに、法律相談、訴訟事務の支援等を行います。